



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 加藤製作所

コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 高橋 啓二

TEL 03-3458-1130

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	25,205	13.1	1,242	—	1,208	—	854	265.5
23年3月期第2四半期	22,282	25.1	29	—	△105	—	233	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 569百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 14百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	14.57	—
23年3月期第2四半期	3.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	81,225	30,881	38.0
23年3月期	75,231	30,458	40.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 30,881百万円 23年3月期 30,458百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	21.0	2,000	51.0	2,100	66.5	1,700	32.8	29.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	58,717,936 株	23年3月期	58,717,936 株
24年3月期2Q	107,346 株	23年3月期	105,884 株
24年3月期2Q	58,611,383 株	23年3月期2Q	58,614,158 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災で寸断されたサプライ・チェーンも回復し、生産面での不安要素はなくなってまいりましたが、一方で、米国景気の先行き不安や、欧州経済に対する不信感などから、引き続き円高・株安の状態が続くなど、総じて厳しい状況にて推移いたしました。

当社グループの事業環境は、中国の油圧ショベル需要に前年ほどの勢いがなくなり、足踏み状態となってまいりましたものの、国内の建設用クレーン需要は、リーマン・ショック後の極端な買い控え状態から抜け出し、ようやく回復の兆しがみられます。このような状況下、当社グループは、建設用クレーンを中心に、さらなる需要の拡大を目指し、積極的な営業活動を推進するとともに、適正価格の維持と、コストの低減に注力いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高 252 億 5 百万円（前年同期比 113.1%）、営業利益は前年同期の 2 千 9 百万円から大きく増加し、12 億 4 千 2 百万円、経常利益 12 億 8 百万円（前年同期は 1 億 5 百万円の損失）となり、四半期純利益は 8 億 5 千 4 百万円（前年同期比 365.5%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本では、サプライ・チェーンの回復にともない、部品調達も順調に進んでまいりました。建設用クレーン・油圧ショベル等の建設機械の受注環境は、リーマン・ショック後の極端な買い控え状態から、徐々に回復し、落ち着いてまいりましたが、未だ力強さは戻っておりません。売上高は 234 億 1 千 5 百万円（前年同期比 117.3%）となり、セグメント利益は 5 億 5 千 5 百万円（前年同期は 5 億 7 千 5 百万円の損失）となりました。

② 中国

中国における油圧ショベルの需要は、前年同期を若干上回る水準で推移いたしましたものの、中国当局による金融引き締め策の影響により、昨年ほどの勢いはみられず、足踏み状態となっております。売上高は 61 億 4 千万円（前年同期比 113.0%）となり、セグメント利益は 7 億 1 千 5 百万円（前年同期比 102.4%）となりました。

主要品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

① 建設用クレーン

東日本大震災による部品不足の状態もなくなり、需要動向も落ち着きを取り戻してまいりました。ただ、国内・海外ともに未だ力強さに欠ける状況が続いております。売上高は 125 億 6 千 8 百万円（前年同期比 134.1%）となりました。

② 油圧ショベル等

中国では昨年ほどの勢いはみられず、足踏み状態で推移いたしました。その他の海外地域および国内においては、落ち着きを取り戻してまいりました。売上高は 123 億 5 千 6 百万円（前年同期比 97.5%）となりました。

③ 路面清掃車等

路面清掃車等につきましては、売上高 2 億 8 千万円（前年同期比 115.6%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べ59億9千3百万円(8.0%)増加し、812億2千5百万円となりました。これは、主として受取手形および売掛金が10億7千6百万円、たな卸資産が32億2千2百万円増加したこと等によるものであります。

(負債の状況)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ55億7千万円(12.4%)増加し、503億4千4百万円となりました。これは、支払手形・買掛金が25億9千6百万円、短期・長期借入金が29億2千1百万円増加したことが主な要因であります。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億2千2百万円(1.4%)増加し、308億8千1百万円となりました。これは、四半期純利益の計上による8億5千4百万円の増加要因と、配当金の支払い1億4千6百万円ならびに、その他の包括利益の減少2億8千4百万円等の減少要因によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は147億8千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億2千3百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況につきましては、つぎのとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、2億6千7百万円の減少となりました。その主な要因は、仕入債務の増加27億5千万円等の増加要因と、売上債権の増加13億4千7百万円ならびに、たな卸資産の増加33億8千万円等の減少要因によるものであります。(前第2四半期連結累計期間は22億1千2百万円の増加)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、5億4千5百万円となりました。その主な要因は、工場関係の機械設備等の取得5億9百万円によるものであります。(前第2四半期連結累計期間は3億4千2百万円の減少)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、27億7千4百万円の増加となりました。その主な要因は、短期・長期借入金の増加49億6千万円の増加要因と、長期借入金の返済20億3千8百万円ならびに、配当金の支払い1億4千6百万円等の減少要因によるものであります。(前第2四半期連結累計期間は23億9千5百万円の減少)

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期連結業績予想につきましては、平成23年7月22日に公表いたしました連結売上高58,000百万円、連結営業利益2,000百万円、連結経常利益2,100百万円、連結当期純利益1,700百万円を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,860	14,783
受取手形及び売掛金	29,236	30,312
たな卸資産	19,381	22,604
繰延税金資産	903	1,041
その他	1,112	1,177
貸倒引当金	△124	△137
流動資産合計	63,369	69,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,788	3,641
機械装置及び運搬具(純額)	1,067	1,056
土地	2,744	2,744
建設仮勘定	106	332
その他(純額)	171	153
有形固定資産合計	7,878	7,927
無形固定資産	138	120
投資その他の資産		
投資有価証券	1,413	1,408
破産更生債権等	2,597	2,528
繰延税金資産	1,138	762
その他	1,269	1,225
貸倒引当金	△2,574	△2,529
投資その他の資産合計	3,845	3,395
固定資産合計	11,862	11,443
資産合計	75,231	81,225

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,480	20,077
短期借入金	8,390	9,550
1年内返済予定の長期借入金	3,771	4,109
未払法人税等	126	73
割賦販売前受利息	1,242	1,320
賞与引当金	305	332
製品保証引当金	195	266
その他	544	477
流動負債合計	32,055	36,206
固定負債		
長期借入金	11,388	12,812
退職給付引当金	730	729
役員退職慰労引当金	587	587
その他	11	9
固定負債合計	12,717	14,137
負債合計	44,773	50,344
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	20,527	21,235
自己株式	△25	△25
株主資本合計	30,548	31,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	22
為替換算調整勘定	△119	△396
その他の包括利益累計額合計	△90	△374
純資産合計	30,458	30,881
負債純資産合計	75,231	81,225



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	22,282	25,205
売上原価	19,808	21,500
売上総利益	2,474	3,704
販売費及び一般管理費	2,444	2,462
営業利益	29	1,242
営業外収益		
受取利息	3	3
割賦販売受取利息	322	280
受取配当金	6	6
持分法による投資利益	42	7
貸倒引当金戻入額	—	0
その他	15	37
営業外収益合計	390	335
営業外費用		
支払利息	169	200
為替差損	325	143
その他	30	24
営業外費用合計	525	369
経常利益又は経常損失(△)	△105	1,208
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	42	—
製品保証引当金戻入額	33	—
前期損益修正益	23	—
その他	16	—
特別利益合計	116	—
特別損失		
固定資産除却損	0	25
特別損失合計	0	25
税金等調整前四半期純利益	10	1,182
法人税、住民税及び事業税	94	87
法人税等調整額	△317	240
法人税等合計	△223	328
少数株主損益調整前四半期純利益	233	854
四半期純利益	233	854

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	233	854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	△5
為替換算調整勘定	△149	△277
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△1
その他の包括利益合計	△218	△284
四半期包括利益	14	569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14	569
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10	1,182
減価償却費	357	337
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△32
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27	△0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1	0
受取利息及び受取配当金	△9	△10
支払利息	169	200
為替差損益(△は益)	237	84
持分法による投資損益(△は益)	△42	△7
割賦販売前受利息の増減額(△は減少)	△25	78
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
固定資産除却損	0	25
売上債権の増減額(△は増加)	△1,997	△1,347
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,254	△3,380
仕入債務の増減額(△は減少)	6,065	2,750
未払費用の増減額(△は減少)	△13	42
未収消費税等の増減額(△は増加)	△106	27
その他	204	126
小計	2,555	77
利息及び配当金の受取額	10	11
利息の支払額	△165	△206
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△188	△150
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,212	△267
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△339	△509
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△0	△6
投資有価証券の取得による支出	△20	—
投資有価証券の売却による収入	0	—
その他	18	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△342	△545
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△350	1,160
長期借入れによる収入	100	3,800
長期借入金の返済による支出	△2,028	△2,038
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△117	△146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,395	2,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	△210	△38
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△736	1,923
現金及び現金同等物の期首残高	11,075	12,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,338	14,783

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
(1)外部顧客への売上高	16,866	5,416	22,282	—	22,282
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,096	17	3,113	△3,113	—
計	19,962	5,433	25,396	△3,113	22,282
セグメント利益又は損失(△)	△575	699	123	△93	29

(注) 1 セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去0百万円、セグメント間未実現利益消去△94百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
(1)外部顧客への売上高	19,065	6,140	25,205	—	25,205
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,349	—	4,349	△4,349	—
計	23,415	6,140	29,555	△4,349	25,205
セグメント利益	555	715	1,271	△29	1,242

(注) 1 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去△29百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。